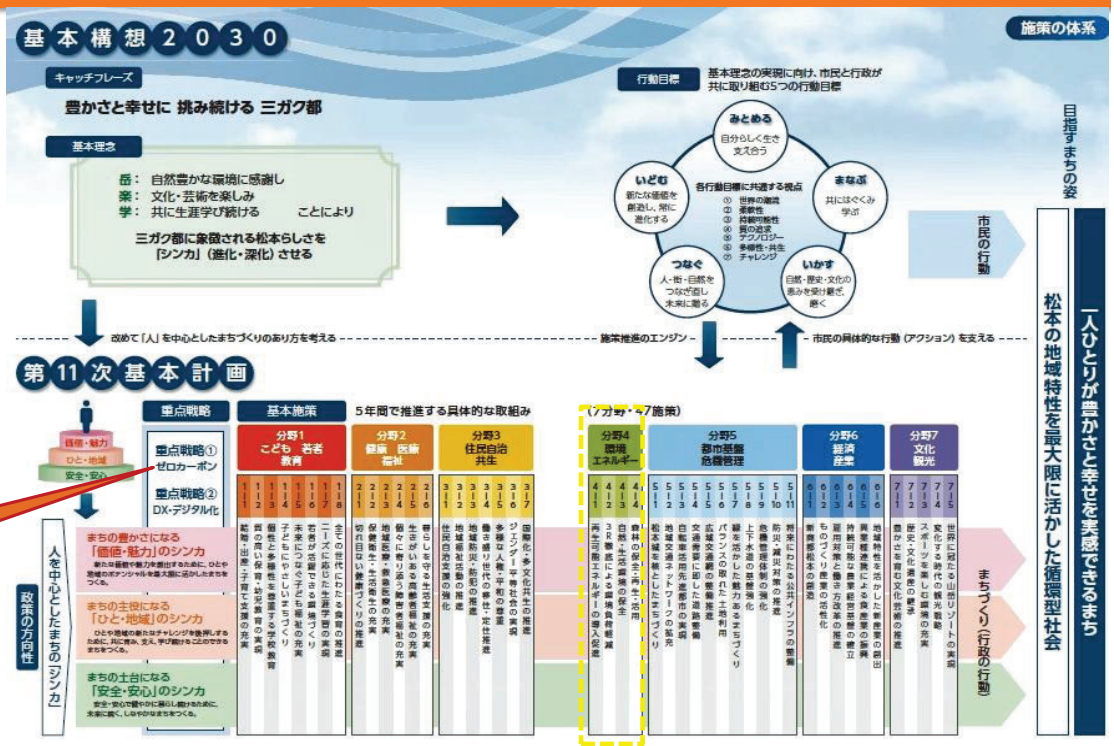
松本市脱炭素プロジェクト
「ワンウェイプラスチック削減ミッション」の取組み

松本市 環境エネルギー部長
羽田野雅司

松本市総合計画でのゼロカーボンの位置づけ

・市政の最上位計画
・基本構想2030
　＋第11次基本計画

重点施策は、
ゼロカーボン＆**DX**



松本市のゼロカーボン実現に向けた近年の動き

令和2年	1月	**世界首長誓約／日本**に署名
	12月	**気候非常事態宣言および2050ゼロカーボンシティ**の表明
3年	3月	**乗鞍高原**が環境省の**ゼロカーボンパーク**第1号に登録
	8月	**松本市総合計画**の策定（重点戦略にゼロカーボンを位置づけ）
4年	2月	**松本平ゼロカーボン・コンソーシアム（MACC）**設立
	4月	**脱炭素先行地域に乗鞍高原**が採択
	6月	**松本市ゼロカーボン実現条例**制定
	8月	**まつもとゼロカーボン実現計画**策定（区域施策編）
		松本市役所ゼロカーボン実現プラン策定（事務事業編）
5年	12月	**松本市の豊かな環境を守り適正な太陽光発電事業を推進する条例**の制定
6年	4月	**同条例**施行
	8月	**松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社（MZCE）**の設立

松本市ゼロカーボン実現条例の3本柱

脱炭素を「まちづくりの大原則」と位置づけ、
「市、事業者及び市民それぞれの責務」、
「今後の施策の基本方針」、「実行計画の策定」などを定めた条例

再エネ
温室効果ガスを「出さない」
→ 自然環境などを考慮したエネルギーの地産地消を実現し、資金の域外流出を減らす

省エネ
温室効果ガスを「減らす」
→ 新たな技術や設備を導入しより一層の省エネルギー化を推進

生活スタイル
- 公共交通・自転車の利用
- 3Rの推進によるごみの削減、再資源化
（脱プラスチックや食品ロス削減）
- 農産物の地産地消等

→ 一人ひとりが生活スタイルを変えることで、脱炭素に寄与する社会基盤を構築

ゼロカーボンシティの実現

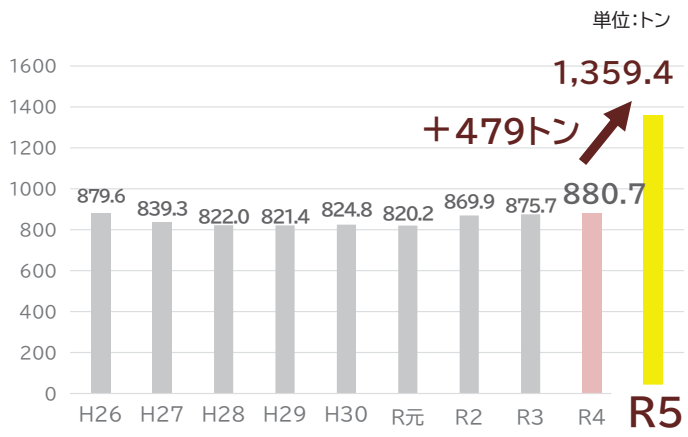
プラスチックごみ削減の取組み

	製品プラ	R5～ 製品プラスチック 資源化事業		従来の「容器包装プラスチック」に加え、新たに製品プラスチックを資源化対象に追加 R3モデル事業 → R5資源化開始
ワンウェイプラスチック削減ミッション	ペットボトル	R3～ マイボトル利用促進事業	連携 → 信州大学 sweeﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ	信大アクアスポットプロジェクトsweeと連携し、信大開発のマイボトル専用浄水器を市内に16台設置 市内の湧水と合わせ一体的に情報発信
	テイクアウト容器	R4～ テイクアウト容器リユースシステム構築事業	委託 → アルパッケ	飲食店でのテイクアウト容器を複数店舗でリユースできる仕組みを市内で展開
	アメニティ	R4 まつもとエコ旅事業	促進 → 市内宿泊事業者	宿泊事業者のプラごみ削減の取組みを支援 宿泊団体とともにエコ旅宣言の発出
	イベントごみ	R5～ イベント用リユース食器導入事業		市内大型イベントで使用されるプラ容器のリユース化を促進
	幅広い事業ごみ	R6～ 特定プラスチック転換支援事業		プラごみの対象を絞らず、幅広く事業系のプラごみ削減を支援

製品プラスチックを資源物に
可燃 4, 339トン減　プラスチック資源 479トン増

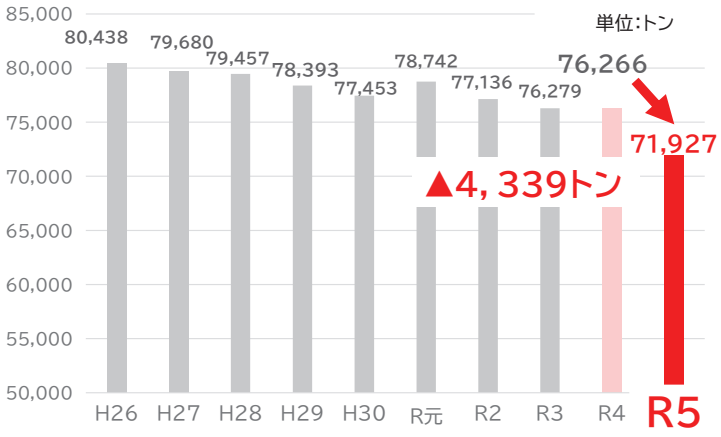
プラスチック資源　回収量

R4まで：容器包装プラスチック



▸ 可燃ごみで回収していた製品プラスチックを R5からプラスチック資源に変更

可燃ごみ　回収量



▸ 容器包装プラスチックと製品プラスチックの回収量が増加

可燃ごみ焼却によるCO2排出量を約1, 326トン削減　562世帯の年間排出量に相当※

※令和4年度家庭部門のCO2排出実態統計調査結果について（環境省、令和6年3月）を参考に算出

指定ごみ袋のデザインをリニューアル
ゼロカーボンシティ実現に向けて ズク出して分別を

Point① 目立つキャッチフレーズを追加

「松本市らしさ」を表現

現在のデザイン

ズク出して分けよう！プラスチック資源

家庭系　プラスチック資源専用袋

※回収されたプラスチック資源は、物流用のパレットや再生品原料などにリサイクルされます。

氏名 Name

Point② 名称を変更

容器包装プラスチックと同様、「黄色文字」

松本市は2050ゼロカーボンシティを目指します

この一袋分の分別で、焼却施設で発生するCO_2を2.8kg削減
（ガソリン約1ℓを燃やした時の発生量と同等）

店舗の在庫終了次第、順次切替

Point③ メッセージを追加

プラスチックごみを分別・資源化
⇒二酸化炭素排出量を削減
2050ゼロカーボンシティの実現につながることを発信

出す時は、袋の口をしばって出してください。

ズク出して減らそう！燃やすしかないごみ

家庭系可燃ごみ専用袋

「可燃ごみ」も
キャッチフレーズを追加

ワンウェイプラスチック削減ミッション 第1弾

マイボトル利用促進事業　「松本市はマイボトルの街」 定着へ

マイボトル専用無料給水機【アクアスポットswee】の設置

⇒ 令和3年度から令和6年度まで、市内１６か所に設置

市役所、観光情報センター、観光案内所（松本駅）、信州まつもと空港、乗鞍観光センター、総合体育館、中央図書館、Mウイング、アルプス公園（森の入り口広場休憩所）、旧制高等学校記念館、市立博物館、なんなんひろば、まつもと市民芸術館、ゆめひろば庄内、沢渡バスターミナル、村井駅

様々な手段での利用案内

- ポスター、ステッカー表示　※ステッカーは、湧水ver.と給水可能店舗ver.も用意
- 観光客向け「街歩きマップ」への掲載
- web上でのマップ表示

松本のおいしい水を生かし、井戸及び無料給水可能店舗も含めた給水スポットの一体的なPRにより、マイボトルの利用を推進

令和6年度には、民間企業と連携した合同PRを実施

アクアスポットsweeの市内16か所の使用水量
合計144,241L

500mlペットボトル　28.8万本相当を削減
約64.7tのCO2削減効果！　令和６年１１月末現在

ワンウェイプラスチック削減ミッション 第2弾

テイクアウト容器リユースシステム構築事業

「arupakke(アルパッケ)」

を活用し、テイクアウト用
リユース容器の普及させる。

◆複数店舗で　使い捨て容器削減
テイクアウト容器をリユース&シェア
◆容器はバイオプラ５０%配合素材(ひのき廃材活用)

【利用店舗】現在 市内２１店舗

アルプスごはん、和利館、akarie、Matsumotopan、山山食堂、atelierC、うす焼まめまめ、喫茶レトロ、百老亭、サルト、喫茶山雅、プチホテルアルム、こだま食堂、kajiya、Sabou しが、ペンション マドンナ、ALICE de café、うまいもの工房、おかみさん食堂、むすび農園、いとう家

アルパッケでテイクアウトするには？

入会登録
店舗にて
・年会費¥500
・預り金¥500

アルパッケでテイクアウト
テイクアウトを注文
何回でも使い放題
アルパッケでお願いします！

食べる
・オフィス・自宅・レジャーで！

返却する
どこの加盟店でも返却OK！

ワンウェイプラスチック削減ミッション 第3弾

まつもとエコ旅事業

使い捨てアメニティーのプラごみ削減

▸市内宿泊事業者と松本市が共同で
「ワンウェイプラスチックに頼らない持続可能な観光地」を目指す　⇨「まつもとエコ旅宣言」

▸観光客へ協力を呼び掛けるキャンペーンを展開

「まつもとエコ旅キャンペーン」(12/1～3/18)
◆ 歯ブラシの提供を辞退する宿泊客に
まつもとコイン300円分付与
◆「まつもと冬割キャンペーン」と連携
⇒宿泊割引3,000円＋まつもとコイン2,000円分付与

まつもとCOIN

R4.11.14　「まつもとエコ旅宣言」
12. 1～3.18　エコ旅キャンペーン実施（協力：市内40事業者）

ワンウェイプラスチック削減ミッション 第4弾

イベント用リユース食器導入事業

イベントで使用される使い捨て食器＝大量のプラスチックごみとして排出

削減へ

イベント用リユース食器リース事業 【運営事業者：エア・ウォーター・スマイル(株)】

スポーツイベントで

リユース食器利用促進補助金 補助率 1／2、上限5万円

※ 現在は３種類のドリンクカップ（650ml、400ml、300ml（ホット用））とそば猪口で運用中

これまでにリユース食器が使用されたイベント

◆ 松本山雅FCホームゲーム(毎試合)、◆ りんご音楽祭(会場：アルプス公園)、
◆ 信州・松本そば祭り、◆ 護国神社マーケットイベント、◆ 松本マラソン等

音楽イベントで

ワンウェイプラスチック削減ミッション 第5弾

特定プラスチック転換支援事業

R4冬、市内宿泊事業者と「ワンウェイプラスチックに頼らない持続可能な観光地」を目指し『エコ旅宣言』
→ 歯ブラシの提供を辞退する宿泊客に電子クーポンを贈呈するキャンペーンを実施

新規補助金

ホテルや旅館、飲食店、クリーニング店などが客に提供する
プラスチック使用製品 を プラスチック代替製品に転換する費用を支援

特定12品目

フォーク	スプーン	テーブルナイフ	マドラー
飲料用ストロー	ヘアブラシ	くし	かみそり
シャワーキャップ	歯ブラシ	衣類用ハンガー	衣類用カバー

転換

以下のいずれかに当てはまるもの

- バイオマスマーク認定商品(バイオマス度25%以上)
- バイオマスプラマーク取得商品
- 紙、木等を主たる素材とする製品

対象者

◇ まつもとエコ旅宣言の発出団体に加盟している宿泊事業者

◇ 各種商品小売業、飲食料品小売業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業、洗濯業のいずれかの事業を営んでいる者

補助金額

プラスチック使用製品購入経費と・・・・
プラスチック代替製品購入経費の差額全額

限度額

【宿泊事業者】
定員 ・～20人 5万円
・21人～50人 10万円
・51人～ 15万円

【その他の事業者】 5万円

おまけ

松本市公式YouTube“松本のシンカ”で
環境情報絶賛発信中!!

ご清聴ありがとうございました